

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物、車両運搬具及び什器備品の減価償却は、法人税法に定める定額法による。

(2) 退職給付引当金

職員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	32,150,000	0	0	32,150,000
小 計	32,150,000	0	0	32,150,000
特定資産				
土地	485,351,591	0	0	485,351,591
建物	622,758,062	0	19,670,198	603,087,864
構築物	4,266,899	0	533,537	3,733,362
退職給付引当預金	20,663,849	660,000	0	21,323,849
工事引当預金	15,328,616	0	0	15,328,616
小 計	1,148,369,017	660,000	20,203,735	1,128,825,282
合 計	1,180,519,017	660,000	20,203,735	1,160,975,282

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	32,150,000	(32,150,000)	(0)	—
小 計	32,150,000	(32,150,000)	(0)	—
特定資産				
土地	485,351,591	(485,351,591)	(0)	—
建物	603,087,864	(603,087,864)	(0)	—
構築物	3,733,362	(3,733,362)	(0)	—
退職給付引当預金	21,323,849	(0)	(21,323,849)	(21,323,849)
工事引当預金	15,328,616	(15,328,616)	(0)	—
小 計	1,128,825,282	(1,107,501,433)	(21,323,849)	(21,323,849)
合 計	1,160,975,282	(1,139,651,433)	(21,323,849)	(21,323,849)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,084,429,855	481,341,991	603,087,864
構 築 物	65,210,400	61,477,038	3,733,362
車両運搬具	2,135,385	2,135,383	2
什器備品	39,891,032	38,968,880	922,152
合 計	1,191,666,672	583,923,292	607,743,380

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照 表上の記 載区分
栃木県 補助金	知事	0	5,675,064	5,675,064	0	—
足利市 補助金	市長	0	48,509,000	48,509,000	0	—
足利市 建設費等 補助金	市長	1,159,855,168	0	20,203,735	1,139,651,433	指定正 味財産
合 計		1,159,855,168	54,184,064	74,387,799	1,139,651,433	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	20,203,735
合 計	20,203,735